

鷗友

東京都立白鷗高等学校同窓会 鷗友会



就任のご挨拶

鷗友会理事長

土屋 雅 司

この度、理事長という重責を担わせていただくことになりました。白鷗17回の土屋雅司でございます。本間前理事長が、昭和54年から30数年に渡り、今日の鷗友会の隆盛を力強くリードされてこられました。私自身としても理事・副理事長として多少はサポートできたかと思っております。今年7月に本間前理事長より退任のお申し出があり、ご本業のお忙しさも重々承知しておりましたので、非常に残念ではありますが、引き継がせていただくことになりました。

本間前理事長には鷗友会特別顧問という形で、しばらくは見守っていただくようお願いをいたしました。

卒業後、評議員として会の運営に参画させていただきました。以来、もうすぐ50年になるうとしていますが、お世話になった白鷗高校や鷗友会のますますの発展のため、微力ながらお役に立つよう頑張らせていただきます。

昔とは違い、高校は学生生活の通過点に過ぎなくなり、同窓会の運営は他校同窓会でも結構大変という話を聞きます。鷗友会の年に1回の総会も、通常の総会ですと大体が100名前後の参加で、若い方の参加もごく一部という状況が続いております。もっと若い方にも参加していただけるよう、3年前から「白鷗祭」にも参加しPRに努め始めました。理事会にも若い理事が入り、平均年齢も大分下がった様に思います。

次の東京オリンピック（2020年）の翌年は鷗友会創立130周年を迎えます。母校の130周年もオリンピック前に迎えることとなります。大役ではありますが、母校の発展と

鷗友会の会員の皆様の一層の交流向上を目指して一生懸命務めさせていただきます。

皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

退任のご挨拶

鷗友会前理事長 本間 皓 司

昭和54年、山口富喜前理事長の後をうけ5月の理事会において、理事の互選により新理事長に選出されてから、三十余年が過ぎました。その間、理事の皆さまの熱心な協力をいただき、会員名簿や会計その他事務管理のコンピュータ化をはかり、また会員の皆さまの多大な寄付により鷗友会の運営基金と母校の後輩たちへの奨学金基金の相当額の積立ができ、何とか資金面で苦しまないで済む同窓会活動ができますのも、一重に会員皆さまのお陰と心より感謝申し上げます。

この間、嬉しかったことは、母校が創立百二十年の伝統校らしく、歴代の校長先生をはじめとする教職員の方々の教育への熱情から、時代の要請に応え、着実な将来への見通しをたて学校経営の変革を重ね、殊に都立高校ではじめて中高一貫校として大きく飛躍を遂げたことです。

まさに以前の本欄に記した「楠千年、さらに今年の若葉なり」（萩原井泉水）の句のとおり、日々に新たな思いいで教育理念の「開拓精神」を実行されています。

私はただただ、会員の皆さま、評議員会、理事会の皆さまの働きの上に安心して座し、いたずらに月日を重ねてきただけに何とも申し訳なく、お詫び申し上げます。

今後とも理事、評議員、会員の皆さま、母校の教職員の方々のお力により鷗友会、母校共々に益々発展されることと思います。本当に長い間ありがとうございました。

平成25年度鷗友会総会

7月7日、浅草ビューホテルにて今年度の総会が開催されました。前日の強風が嘘のような真夏日の中、120名を超える方々のご出席を賜りました。



司会の松浦副理事長による開会の辞に続いて、土屋副理事長が「下町情緒あふれる季節の浅草をぜひ楽しんでいただけたら」と挨拶されました。顧問の若井校長からは、奨学金や次世代リーダー育成道場への鷗友会の支援に対する感謝の言葉をいただきました。



この次世代リーダー育成道場は東京都主催の留学支援プログラムで、昨年度に引き続き今年度も白鷗高校の在校生8名が選抜試験に見事合格し、10カ月の長期留学をすることが決定したとご報告いただきました。また、今年度はご来賓として小口鷗友学園理事長のご出席を賜り、最近の鷗友学園についてお話いただきました。市川源三先生教育理念を自由に実現する場として創立された鷗友学園は、卒業生・教員・在校生の保護者が一丸となりサポートする体制のもと、生徒が希望する進路の実現へ向けて精力的に取り組まれているとのことでした。



議事の冒頭で、議長の土屋副理事長より、本間皓司理事長から提出された辞職願を理事会で受理したこと、評議員を退任された林きぬ子前副理事長に何らかの形で今後も鷗友会に関わっていただきたいと評議員会で提案されたこと、それを受け理事会で規約改正を行い特別顧問を設け、本間前理事長と林前副理事長に特別顧問となっていただけのお願ひすることが報告されました。その後、平成24年度事業報告、平成25年度事業の説明、平成24年度決算報告、平成25年度予算の説明が行われました。新たに理事となられた三澤敏宏さん（白25回）、本間慶喜さん（白31回）、関谷真理子さん（白46回）を加えて19名体制となった理事会の紹介があり、拍手をもって承認され、議事は滞りなく終了致しました。

次に、藤川流家元の藤川澄十郎さん（白57回 本名・渡辺奈央子さん）に日本舞踊をご披露いただきました。色鮮やかな衣装で舞う姿の美しい「操三番叟」、巧みに面を変えながらおかめ・えびす・ひよつとこのままごとをする子守りの演技がおもしろい「三ツ面子守」の二演目



を踊っていたとき、会場から大きな拍手が送られました。今年米寿を迎えられる府一女57回卒の先輩方にも素敵なお祝いとなったのではないのでしょうか。



今成元校長の乾杯の音頭で会食が始まり、美味しい料理と歓談をお楽しみいただきました。お色直しされた藤川澄十郎さんを囲んでの記念撮影では、踊っているときの貫録ある雰囲気から一転、桃色の和装で若々しく可憐な藤川さんに、自然と皆さまのお願もほころび、笑顔が花咲く写真撮ることができました。

最後に恒例の新旧校歌を小栗茂子さん（白3回）の指揮で斉唱し、松浦副理事長の閉会の辞で名残を惜しみながら閉幕となりました。



白58回 野崎 絵美

米寿を祝って

57回 林 きぬ子

東京府立第一高等女学校を卒業して七十年、五十七回生も今年八十八歳となり、心身の老化を上手に受け止めて、それぞれが楽しく生きております。

総会は七夕でご都合のつかない方も多く残念と言うお話しが沢山参りました。出席者は中島安久里・長尾芳枝・松谷正枝・小山田淑子・前川和子・河井秀子・安田純子・中山一江・林きぬ子・須田満江・江島登司・河津緑・森本貞子・福永照子・松岡耐子の十五名で、元気な方も、ご家族が付き添ってきて下さった方も、車椅子の方も、皆様が温かく見守つ



て下さり、会場の大勢の方々からお祝いのお言葉を頂き、面映ゆく、大感激でございました。皆様、誠に有難うございました。

私共は、小学校六年の時、戦争が始まり、二十歳で終戦。戦中、戦後の苦しい時代を昭和と共に生き抜き、今、平成の代を人生のお別れに向けて、穏やかに過ごせる幸せを噛みしめております。

五十七回の皆様、これからもそれぞれの日々を充実して生きて行きましょう。

鷗友会も「鷗盤振舞」

今年の白鷗祭の
スローガンである。
このスローガンの
もと、来場者に最
高のおもてなしを
と、9月21、22日
の二日間白鷗全体
が賑わった。



さて、鷗友会も在校生に同窓会の理解を深めてもらう目的で、今年も参加、両日で500人を超える来訪者を数えた。今年は新たな試みとして、7月の総会で披露された藤川澄十郎さん（白57回 渡辺奈央子）の日本舞踊を映像で紹介。新旧校歌の斉唱の様子も流したところ好評を得た。卒業生の紹介コーナーをじっくり

見てくたさる方も多く、また旧校舍模型（白38回有志制作）や旧制服も人気があった。

さらにカドリールや白鷗体操の映像を見たいとの要望もきかれ、卒業生が多く訪ねてくれたのも今年の特徴だろう。

卒業生だった家族の卒業アルバムを見て盛り上がったたり、第一高女時代の教科書を読んでみたりと、毎年訪ねてくれる現役白鷗生もいた。また、在校中ブースに来てくれた生徒が卒業後また寄つてくれるなど、3年前から白鷗祭に参加、目的とした鷗友会の認知度も上がってきているように感じた今年であった。来年もさらなる認知度の上昇をめざし、気合を入れるので、ぜひ会場を！

白31回

石井 さかえ



<平成25年度（白65回生）入試合格状況>

平成25年4月現在

国公立4年制	男子	女子	卒男	卒女	合計	私立4年制	男子	女子	卒男	卒女	合計	私立4年制	男子	女子	卒男	卒女	合計
北海道				1	1	青山学院	4	6		1	11	東京工科	6	1			7
弘前	1				1	亜細亜	2	1			3	東京音楽		1			1
茨城	1	1			2	岩手医科			1		1	東京女子		2			2
筑波	1	1			2	大妻女子		2			2	東京女子医科		1			1
群馬	1				1	学習院		4	1	1	6	東京都市	1				1
埼玉	1	1			2	北里	1	1			2	東京電機	4				4
千葉	4	3	2	1	10	共立女子		1			1	東京農業	6	11	1	1	19
お茶の水女子		1			1	慶應義塾	4	7	1		12	東京理科	17	7			24
電気通信				1	1	工学院	1				1	東邦		1			1
東京	3	1	1		5	國學院	1			1	2	東洋	7	12	2		21
東京外国語	2	1			3	国士館	2				2	な 二松学舎	1	1			2
東京学芸		3			3	駒澤	4	8			12	日本	24	6	2	1	33
東京工業		1			1	駒沢女子		1			1	日本獣医生命科学		2			2
東京農工	2	1			3	実践女子		1			1	日本女子		9			9
一橋		1			1	芝浦工業	9	4		1	14	は 法政	21	10			31
横浜国立	1				1	上智	2	4			6	星薬科		1			1
静岡	1				1	昭和		1			1	ま 武蔵野美術		1		2	3
横浜市立	2		1		3	昭和女子		7			7	明治	17	16			33
首都大学東京		2	1		3	杉野服飾		1			1	明治学院	9	7			16
前橋工科	1				1	成蹊		2			2	明星	2				2
岡山		1			1	成城	2	2			4	目白		1			1
奈良県立医科		1			1	専修	2	5			7	ら 立教	8	11	2		21
	21	19	6	2	48	創価		1			1	立正	2	1			3
						た 大正	2	2			4	わ 早稲田	17	8	2		27
国公立大学	21	19	6	2	48	拓殖		1			1	【埼玉県】					
私立大学	219	220	13	16	468	玉川	1	1			2	跡見学園女子		2			2
短期大学 他	1	13	0	1	15	多摩美術		1		2	3	城西大学	5				5
4年制大学	240	239	19	18	516	中央	8	3	1	1	13	東京国際		1			1
早・慶・上智・理科	40	26	3	0	69	津田塾		1			1	獨協	6	4			10
東京・京都・一橋・東工	3	3	1	0	7	帝京	1			3	4	文教	2	4			6
						帝京科学	1				1	文京学院	1	5			6
						東海		1		1	2	明海			1	1	1
						東京家政		4			4	尚美学園		1			1
						東京経済		3			3	【千葉県】					
						東京工芸	1				1	聖徳		1			1
						東京医療保健		2			2	千葉工業	6				6
						東京医療学院		1			1	帝京平成		2			2
							48	79	4	11	142		162	130	9	5	306

※白65回生は
中高一貫校の
3期生です。

白鷗高校 HPより 抜粋 転載

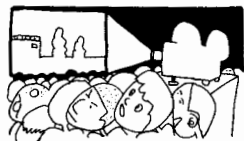
鷗友サロン

同期会

映画の思い出

白17回 鈴木秀夫

多くの皆様は知らない、あるいは忘れていていると思いますが、昭和三十八年秋に、毎週月曜日昼、16ミリの教育映画が上映されていました。場所は視聴覚室です。丁度12時5分から40〜45分間でした。その時間は担当である本間惣太郎先生も昼休みでした。生徒会が依頼して引受けてくれたのです。先生も天丼を食べながら頑張つて下さいました。白鷗は当時から歴史のある高校で、16ミリの教育映画を大量に保有していました。その中から先生が選んだ生徒に見せたい作品を上映したのです。



生徒も百名から二百名位収容できる教室ですが、いつも満員で、食事をしながら見ていました。玄関の通路に今日は映画会やりますと表示したただけなのであります。私もずいぶん好きな映画を見せてもらいました。いまだ当時のことを想い出すと、先生に感謝の気持ち一杯です。生徒会はお金はなくとも知恵をすれば色々なイベントを開き挑戦できるとおもいました。

喜寿で迎えた69期同期会記

白6回 内田幸彦

平成25年5月16日(木)にJR御茶ノ水駅近くの「東京ガーデンパレス」にて私たち、昭和29年3月卒業の69期生(白6回)の同期会を開催しました。この会は、各組が幹事を担当し、原則2年毎の開催を続けてきました。今回は、私たちの組(7組)が幹事で、2順目となり前回は「還暦」、今回は「喜寿」での担当となりましたが、喜寿も通過点というところで特別な催しはしませんでした。

会は、午後1時から、木村正三・



(大川武男氏撮影)

林きぬ子・星野賢造先生方のご出席のもと、同期生85名の出席があり、星野先生のご挨拶・乾杯で始まりました。歓談、各組のコメントや近況報告など、十分な飲み物と食事で和やかな雰囲気の中に進行し、瞬く間に午後3時となりお開きとなりました。

欠席通知のありました85名の方から、芳志金をご負担頂きました。なお、傘寿を迎える次回で、最後の開催とすることを後日の幹事会で了解されました。皆様との再会を楽しみにし、今後、益々のご健勝とご活躍を祈念し報告と致します。

卒業五十周年の同期会

白15回 乙部武顕

二年前に開催する予定で東日本大震災のため中止となっていた同期会を卒業五十周年となるのを期に開催しようとするの間で話題となり、2月から本格的に動き出しました。そして新緑の5月25日(土)会場は上野精養軒にて同期会を開催いたしました。

80数名の同級生が参加するなか岡本武男、林きぬ子両先生をお迎えし、ご挨拶をいただきました。

テーブル席は抽選で決められ、最初は何となくごちなかつた雰囲気も、時間が経つうちにみんな昔に返り、和やかな空気が漂い、席を移動する者も多数あり、あちこちで談笑の輪が出来ました。

会場に用意された大型スクリーンにクラスメートひとりひとりの卒業アルバムからの写真をはじめ、友人から集めた当時の写真や有志が集った時のビデオをDVDにした映像が放映された時には、あちこちから「あつ、私だ!、俺だ!、誰々さんだ!」と若き日の写真に歓声があがり大いに盛り上がりしました。

また、別の校友が虚無僧姿で尺八を吹いてくれ華を添えてくれました。最後にテーブルごとに写真を撮りにぎやかなうちに散会となりました。

卒業して半世紀、古希を迎える我々ですが先生方のお元氣な姿に接し、これからも頑張るぞと思った会でもありました。行き届かなかった点もあったかと思いますが、皆さんのご協力のお陰で盛会のうちに終了することが出来、幹事の一人として感謝しております。

35年の歳月

白31回 奥野圭子

前回の同期会から18年、卒業35年の同期会を上野精養軒で7月21日に行いました。

卒業生約350名、同級生の連絡網を駆使して320名に案内を出す事ができ、出席者141名。恩師の先生は9名御出席。

皆同じように加齢してるせいで大した変化を感じず、「変わってないね」とあ

ちこちで声が聞かれます。一番変わってないのは、ゲストの先生方か。林先生が紺色の体操着姿で、前にお立ちになったら、白鷗体操してしまいます。影山先生がグレーのスーツでお立ちになったら、わかりませんと言ってしまうそうです。

岡村先生、鈴木先生、吉野先生、理系さつぱり、太田先生、古典さつぱり、指ささないで下さい。山本先生、投げないで下さい。秋山先生、石の区別わかりません。

森本先生、英会話で仕事する事あるんですが。あつと言う間の一次会三時間の後は、景色の良い屋上ビアガーデンに移動して二次会70名。あとはそれぞれに三次会、四次会へと。一滴もアルコールを飲まず選挙開票作業に向かったり、帰りの列車のため途中で帰ったり、白鷗生は皆真面目。自分は、余興の白鷗当たり前体操の直前練習のため、11時集合終電帰宅、楽しく短く名残惜しい一日でした。

アメリカ在の同級生からは、今年は参加出来ないけど次回は是非と、わざわざ国際電話をもらいましたし、出欠のハガキ以外のお手紙、メールも沢山いただきました。至らない点多々あったと思いますが、それは次回の課題にしたいと思っています。

なお、会の最後にご承認いただきました奨学金基金への5万円の寄付については、9月末に鷗友会事務局にお渡しした

しました。また、同窓会の写真は、ネット上にアップしております。

見たい方は hombc@nifty.com まで御連絡下さい。

白鷗26回生

「林きぬ子先生を囲む会」を開催

白26回 谷ヶ崎 克美

平成25年5月25日、担任していただいた1年2組の有志が誘い合って、今年米寿を迎えられる林先生を囲む会を鷗外荘で行いました。参加者13名のこじんまりした会でしたので、先生とのお話をゆつくり楽しむことができました。戦時中の疎開先での生活や空襲で自宅を失われた後のご苦労、白鷗に長年勤務することに至ったいきさつ等、これまで何うことになったかとお話をしてくださり、私たちの親世代が生きてきた時代と重ね合わせ感慨深く聞かせていただきました。また、現在は海外旅行や体力作り等を行うなど相変わらずパワフルで、元気にお過ごしになられている様子でした。参加者も、卒業以来40年ぶりに参加された方も、愛知から参加された方など、久しぶりの再会に話も弾みました。今年58才になる仲間たちの姿は、学生の頃の面影を残しながらも年を重ね味わいのある風貌となっていました。次回は、2年後先生の卒寿・私たちの還暦を祝う会で再会すること



とを約束し閉会となりました。会の後、林先生は精養軒で同窓会が開かれるということなので、みんなで先生を精養軒までお送りし帰路につきました。先生は、相変わらずエネルギーが凄かったです。

支部だより

【北海道支部】

北海道支部はそれなりの歴史を持っていて昭和から平成初期にかけての時代は、最盛期には府立第一高女時代の卒業生を中心に20名を超える集まりを年二回

行ってきた伝統があります。しかし、時の流れは残酷で、大先輩たるおばさま達も体調を崩されたり、あるいは鬼籍に入られ、今やここの数年、白鷗時代、それも停年後の生活を享受している卒業生を主に年一回のささやかながらの集まりを行っております。

こんな中、この数年の参加常連者である白8回古瀬節子、益井幼子、米田徳彦、白11回遠田美穂子、白20回木村博海の諸氏に加えて、この度は、昨及び今年度北海道大学に入学した新進気鋭の中高一貫教育白鷗卒業生4名の内、梁拓夢君、佐々木佳代さんの参加を得て、10月5日に昼食会を行いました。北大生にはお二人のほか秦彩乃さんそして谷内元君がいますが、それぞれ生物デバイス開発の国際学会出席そしてワンダーフォーゲル部活合宿などの理由で欠席、しかし、新生？白鷗高校の最新の情報や、日本一自然環境に恵まれた広大なキャンパスで青春を謳歌する皆さんの日々の話題に、常連出席者の方が過ごした昭和30～40年代の日常や往時の学生生活の様子を交えながら時代の流れを想い、懐かしみ、老若それぞれ来し方行く末を語り合い、2時間半を楽しみました。孫のような北大生方に日々好日に過ごしている常連支部会員のおばさま、おじさま達は、たまには家庭料理も恋しかろう、そんなときは、遠慮せずに連絡下さいと呼び掛け、

今風ではない育ちの良さそうな気立ての良い学生さん達は素直に「伺わせてください」と応じるなど和やかな集まりとなりました。 白8回 米 田 徳 彦

PS:北海道には鷗友会会員の方々が多くいらつしやるのではないかと思います。北海道支部は毎年例会を行っています。是非のご連絡を鷗友会事務局までお知らせ頂ければ幸いです。

【東葛支部】

平成二十五年九月八日(日)、三井ガーデンホテル柏にて、鷗友会員の集いを開催しました。運よくこの時期としては涼しい日にあたり、今年は一九名の参加をみました。

恒例の豪華景品つきクイズ。問題は「これは何に使う道具でしょうか」と、実物を見ながら答えていくものです。みな日常生活品で、普通に街で買い集めたものばかりでしたが、一〇問中平均正解率は三・六問でした。最高得点者は八問正解でした。上位の者から「ペアで一泊二食付、温泉招待」二組など、以下一四名に景品が渡りました。また全員に、豪華ではないが楽しいおみやげも配られました。見た目はお寿司ですが、じつはせんべい。見た目は焼き鳥ですが、じつはこれもせんべいの二点です。

想像と現実の落差に、みなさんから驚きの声がもれました。



もう一つ恒例の「鷗友学会」も紹介しましょう。詩吟、ソプラノ熱唱、英語スピーチでハワイ賛美、謡曲、ハーモニカ、子どもが熱中するゲームの紹介など、今年も色々ありました。来年はあなたも鷗友会東葛支部に参加して、プログラムのない学会を見に来てください。以上たっぷり三時間。最後は二つの校歌を歌って、「また逢う日まで」となりました。

白17回 中野愛彦

△庶務日誌▽

5月19日	成美同窓会閉会記念総会
5月25日	松浦副理事長出席 理事会(総会、奨学金)
5月28日	鷗友158号発行 平成26年度総会会場が精養軒に決定(7月6日開催)
6月4日	鷗友奨学金第1回授与。14名
6月11日	白鷗祭企画書提出。浅草ビューホテル下見・打ち合わせ 理事会(総会準備)
6月22日	須永副校長から柴俊夫関連・新タイプ都立高校VTR2本受領
7月5日	本間理事長から辞職願届く 週刊エコノミストの「名門高校の校風と人脈・白鷗編」記事の件でライター猪熊氏来室 理事会(本間理事長退任を決定) 平成25年度総会開催(浅草ビューホテル)
7月7日	故佐藤晃先生夫人と白29回柳田さんが先生の絵を見に来室 総会写真郵送
7月16日	岡本・小田両名(高2)白鷗祭パンフレット作製で調べたいことがあり来室
7月19日	東京都次世代リーダー育成道場今年度合格者8名
8月2日	白31・32回有志9名校内見学 須永副校長より関東大震災後の慰霊祭の写真受領 理事会(土屋副理事長を理事長に選出)
8月16日	白鷗祭準備
8月23日	白鷗祭準備
9月14日	白鷗祭準備
9月20日	白鷗祭準備
9月21日	白鷗祭準備
9月22日	白鷗祭(両日で507名来室)

10月5日 理事会(法人化検討)
10月8日 高2修学旅行に鷗友会提灯を貸し出す(日本文化紹介のため)
10月22日 鷗友奨学金第2回授与
東京都次世代リーダー研修生2名(1月より留学予定)に奨学金授与

鷗友会への寄付
57回 匿名 五、〇〇〇円
寄贈図書
白2回 木岡保子 「作品集 清光」
白22回 日野正枝 「決定版昭和史」他

鷗友会年末年始の予定
年内最終 12月24日(火)
閉室 12月25日(水)
開始 平成26年1月10日(金)
1月9日(木)

個人情報取り扱いについて

鷗友会では、プライバシーポリシーを定め会員の個人情報保護に努めております。同窓会などで会員情報の開示を希望される場合は、「鷗友会会員データ利用書」への記入・提出を義務付け、不要な流出を防ぐ対策をとっております。

今後とも細心の注意を払い、万全の態勢で臨んでまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

奨学金基金への寄付

下記の方々から**合計 705,000円**をご寄付いただきました。心より御礼申し上げます。

期間：平成25年4月1日～9月30日（コンビニ振込は3月23日～9月6日まで）

卒業回	氏 名	金 額	卒業回	氏 名	金 額	卒業回	氏 名	金 額	卒業回	氏 名	金 額
45回	小 川 津多子	10000円	白 2回	木 岡 保 子	50000円	白 8回	福 岡 光 子	4000円	白17回	川 名 広 美	3000円
47回	酒 井 房	300000円	白 3回	大 場 絹 尹	3000円	白 8回	菅 沼 和 子	4000円	白17回	坂 本 由美子	3000円
51回	新 間 君 枝	3000円	白 3回	前 田 真 砂	3000円	白 8回	岩 城 孝 次	3000円	白17回	栗 田 和 世	3000円
55回	山 田 登志子	4000円	白 3回	川 北 美智子	1000円	白 9回	山 本 圭 子	3000円	白17回	渡 辺 君 枝	3000円
56回	林 富	3000円	白 3回	鳴 海 弘 子	3000円	白 9回	助 川 文 朗	3000円	白19回	須 賀 透	4000円
58回	比 毛 悦 子	3000円	白 3回	千 葉 淑	3000円	白10回	上 木 暁 美	3000円	白20回	笹 田 陽 子	3000円
58回	生 方 照 子	1000円	白 3回	江 崎 良 枝	4000円	白10回	地 曳 世志子	5000円	白21回	山 田 麻有美	3000円
59回	山 田 節 子	4000円	白 4回	岡 島 貞 子	3000円	白11回	小 泉 隆 子	3000円	白23回	石 川 眞理子	4000円
59回	佐 藤 ルチコ	3000円	白 5回	鈴 木 治 美	4000円	白11回	林 崎 信 子	3000円	白31回	本 間 慶 喜	10000円
60回	岩 成 道 子	3000円	白 6回	植 芝 弘 子	1000円	白11回	川 崎 具 子	4000円	白32回	山 田 静 江	3000円
60回	愛 澤 千枝子	3000円	白 7回	蓑 輪 利 子	4000円	白11回	石 川 紀久枝	3000円	白40回	佐々木 光 輝	3000円
60回	中 村 輝 子	4000円	白 7回	笠 原 和 子	1000円	白11回	五 嶋 妙 子	3000円	白45回	宮 島 萌 子	1000円
61回	平 山 和 枝	1000円	白 7回	高 野 順 子	3000円	白12回	高 鳥 薫 朗	1000円	併設中	伊 藤 公 恵	3000円
62回	唐 津 宏 子	4000円	白 7回	笹 野 聰 明	3000円	白13回	谷 俊 子	3000円	旧教員	宮 澤 嘉 夫	10000円
63回	野 中 貴美子	3000円	白 7回	栗 田 弘 子	4000円	白13回	寺 内 美智子	3000円	旧教員	齊 藤 和 夫	8500円
63回	高 橋 美 子	3000円	白 7回	福 崎 佳久子	3000円	白13回	安 井 緑	1000円	旧教員	岡 部 幸 枝	8500円
63回	鬼 山 実 子	1000円	白 7回	菅 原 壯 司	3000円	白13回	船 津 球 子	1000円	旧教員	今 成 昭	14000円
63回	野 口 富美子	3000円	白 7回	加 藤 カヨ子	6000円	白14回	伊 藤 圭 子	3000円	白31回	同 期 会	50000円
64回	氏 家 菊 子	3000円	白 8回	小 南 伸 子	3000円	白15回	KIRSCH 君 子	3000円	白63回	同 期 会	30000円
64回	加 藤 英 子	3000円	白 8回	拝 司 美智子	3000円	白15回	乙 部 武 顕	3000円	(敬称略)		
64回	片 山 敬 子	3000円	白 8回	松 原 淑 子	3000円	白17回	岸 邦 子	3000円	これ以降の方は次号に掲載します。		

<支部連絡先>

北海道 57回 辻 栄 子

埼 玉 白 7 回 野 村 路 子

東 葛 白17回 中 野 愛 彦

川 崎 白 9 回 坂 本 久 悦

湘 南 府一女59回 有 賀 幸 子
(平成25・26年代表)

東 海 白12回 今 泉 絢 子

関 西 50回 岡 本 歌 子

逝去された方々

左記の方々の御冥福を
謹んでお祈り申し上げます。

旧教員 千田 勇司 25・6・1
42は 米倉 勝子 21・10・9
43は 河井 愛子 25・10・8
45は 高木 房子 25・9・29
47い 酒井 房 25・3・27
47ろ 長谷川マツ 24・12・19
47は 加藤 ふみ 25・4・7
47に 吉松 房枝 25・4・17
49ほ 小田 愛子 25・2・18
50ろ 安部 栄子 25・5・10
50は 岡本 みち 25・9・28
51い 小川 利子 24・10・12
51は 横尾 いと 25・5・8
51ろ 岡崎伊津子 19・25・3・27

52ほ 根岸 定子 25・4・11
52ろ 平山 岸子 22・11・22
53ろ 岩崎 ふで 25・10・4
53ろ 田尻 博子 25・2・11
53ろ 橋本 富枝 25・3・1
53ろ 田畑 アイ 25・1・29
54ろ 木内三子 24・10・18
54は 戸島 千代 25・8・6
54は 屋代 浅江 25・4・30
54ほ 荒木 信子 25・4・25
54ろ 五十嵐常子 25・4・6
55ろ 沼波 華子 25・4・1
55に 山田登志子 23・6・16
55ほ 木下 利江 11・9・23
56い 佐藤 緑 25・1・5
56に 野口トヨ子 25・2・28
56ほ 塩川 美枝 25・5・15
57い 今井 秀子 24・5・4
57い 河井美登里 25・3・6
57ろ 古明地茂子 25・6・21

57ろ 岡崎 照子 25・9・3
57は 大塚 勝子 24・12・25
57に 北村 涌子 24・12・7
57ろ 宮崎 信 24・3・31
57ほ 青木 鈴子 24・1・3
58に 手塚 照子 23・6・17
59ろ 湯山 こう 25・4・18
59ほ 兼信 照子 23・6・17
60ろ 兼信 照子 23・6・17
白 3 1 鳥塚 和子 25・2・31
白 6 5 大江 理雄 24・4・26
白 6 6 堀江 隆 25・6・25
白 7 6 間 京子 20・7・11
白 10 7 堀尾 昌子 25・3・31
白 13 5 半田 淑子 24・7・24
白 17 3 小路 陽子 25・7・24
白 17 3 藤田 文子 25・7・24
白 19 2 山本 幸子 25・7・13
白 31 6 日比三 紀子 25・7・13
白 33 8 保科 徳幸 23・7・13
白 37 4 渋沢 英城 24・7・13

鷗 友 会

東京都立白鷗高等学校同窓会

〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-22 都立白鷗高校内 TEL FAX 03-3844-4284

振替 東京 00180-7-3052 会費用 振替 東京 00100-8-34659 一般用

http://www.ouyukai.net/ E-Mail : info@ouyukai.net